



各行政区の 令和2年度 区長さんを紹介します

令和2年度の新区長さんが決まりました。区長さんには、住民と町のパイプ役として住みよいまちづくりのためにご活躍いただきます。

地区	行政区名	区長名	世帯数
境地区	本船町	おちあい 落合 久夫	33
	下仲町	えんどう 遠藤 光一	19
	上仲町	あきもと 秋元 守	32
	上町	さいとう 斉藤 良夫	109
	住吉町第1区	なるしま 成島 良雄	84
	住吉町第2区	わたなべ 渡辺 弘	98
	住吉町第3区	さくらい 櫻井 新一	95
	宮本町	さくらい 櫻井 浩	199
	坂花町	くろだ 黒田 修一	45
	新吉町	しかくぼ 鹿久保 喜一	84
森戸地区	山神町第1区	ながつ 長津 利明	176
	山神町第2区	さとう 佐藤 裕好	165
	旭町1区	はんむら 半村 勇	122
	旭町2区	かわぐち 河口 祐一	93
	旭町3区	なかむら 中村 仁	110
	松岡町第1区	あさぬま 浅沼 明	128
	松岡町第2区	すどう 須藤 和彦	164
	松岡町第3区	あきもと 秋元 修	138
	陽光台	なかじま 中嶋 鉄郎	169
	長田地区	蛇池	いわさき 岩崎 進
長井戸1区		すがや 菅谷 茂	186
長井戸2区		ふくしま 福島 勝	360
猿山		こぐち 小口 誠	93
下砂井		いしかわ 石川 利行	100
栗山		そめや 染谷 一彦	60
西泉田		さとう 佐藤 正二	210
上小橋		のざわ 野澤 幸夫	138

地区	行政区名	区長名	世帯数
猿島地区	金岡	いながき 稲垣 浩	52
	浦向	ほんや 本谷 昇	151
	下小橋	とみはり 富張 清一	124
	染谷	さいとう 齊藤 和彦	108
	大歩	ふくだ 福田 克美	123
	中大歩	わたなべ 渡邊 充男	39
	内門本田	おした 忍田 仁義	79
	内門新田	わたなべ 渡邊 俊一	39
	井草	いづつか 飯塚 豊	89
	七軒	はんむら 半村 元伯	56
静地区	喜五郎	おおくぼ 大久保 幸勇	61
	山崎南	やまなか 山中 一則	60
	山崎北	のむら 野村 和包	72
	伏木北部	そめや 染谷 武史	70
	伏木中部	せきお 関根 渉	193
	伏木南部	まなか 間中 幸男	155
	一ノ谷	いしつか 石塚 泰一	51
	百戸	きむら 木村 秀行	128
	桐ヶ作・新田戸	うきはら 上原 勝一	40
	若林蓮台	なかむら 中村 二朗	158
若林新田	すずき 鈴木 正	83	
若林本田	くらもち 倉持 ひろ志	141	
塚崎一	にし の 西野 新一	208	
塚崎二	そめや 染谷 薫	208	
稲尾	くりた 栗田 長市	72	
志鳥	かなくぼ 金久保 季一	87	
横塚	しまね 島根 孝男	39	

世帯数については令和2年6月15日現在(敬称略)

境町の新型コロナウイルス感染症対策

全国初の取り組み 企業版ふるさと納税を活用し町の持ち出し0円!

医療用コンテナ貸し出し 東京・三鷹市を支援!

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、東京都三鷹市に災害医療用コンテナハウスと災害用トレーラを1台ずつ無料貸し出ししました

Voice



一般社団法人協働プラットフォーム代表理事・立教大学大学院教授

長坂俊成先生

『境町モデル』として、全国に広めていきたい

普段はスポーツ等の合宿に活用し、国難級の災害時には社会的備蓄として提供することを想定しています。自治体間で災害対策のコンテナハウスを貸し出すのは全国で初めての試みです。当初は、自然災害を想定していましたが、広い意味での防災危機管理に活用できると感じました。

What's /

Q ムービングハウスってなに?

快適な木造の家

従来のトレーラハウスやプレハブ住宅、仮設住宅と比べて桁違いの快適性を提案する、動く家「ムービングハウス」は、自然素材に包まれた居住空間が特徴です。

Q どういうメリットがあるの?

平時からの社会的備蓄により、災害時に被災地への大量供給が可能で、ユニットバス、トイレ、エアコン、キッチン、冷蔵庫、電子レンジ、テレビなどが装備され、移動先で給排水、電気、LPガスを接続することですぐに医療支援施設として利用が可能です。



境町文化村を出発するコンテナハウス。今回、三鷹市に貸与したバス・トイレ・台所付きで、長さ6m(重さ2・5t)のホテル仕様サイズ



出発の様子。写真左より(株)アーネストワン品質管理部豊永雅大アフター管理課長、橋本正裕町長、一般社団法人協働プラットフォーム代表理事・立教大学大学院長坂俊成教授



境町を出発した災害用トレーラ 普通自動車でも牽引可能で気密性に優れ、空調冷暖房設備と100V/1500Wが使用可能な電源システムを2つ装備

医療従事者の控室及び被験者の救護施設等として半年間貸し出し

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、東京都・三鷹市のPCRセンター設置に伴い、境町では、河村孝三鷹市長の要望を受け、PCR検査に係る医療従事者の控室及び被験者の救護施設等としての使用を目的に、災害医療用コンテナハウス及び災害用トレーラ1台ずつを無償貸し出しをする運びとなりました。

6月11日(木)に、出発式が行われ、境町から三鷹市に向けてトレーラが出発しました。約2時間かけて東京都・三鷹市に到着し、設置されました。